



2014～15 年度
国際ロータリー会長

ゲイリー C. K. ホアン

Weekly Report Niigata



2014～15 年度
新潟ロータリークラブ会長

高橋 秀樹



2014～15 年度 国際ロータリーのテーマ

新潟 RC2 月第 2 例会 (2015.2.3) No.3073

(1) 「君が代」斉唱

ロータリーソング「奉仕の理想」斉唱

(2) 高橋 秀樹会長挨拶

先週は新年家族会でたくさんの会員のみなさんご家族、ゲストの方々と共に楽しいひと時を過ごすことができました。親睦委員会の委員長、委員のみなさんには大変お世話になり、洵にありがとうございました。

さて、本日は節分ですが、ロータリー保育園から依頼があり、ぜひロータリアンのかたに鬼になって頂き、豆まきの催しに協力してほしいとのことで、関係委員会の佐藤紳一さんと小飯田澄雄さんにお出かけ頂きました。これまでロータリー保育園との関わりはクリスマスの時だけでしたので、今回が初めての試みであり、後ほどご報告がございます。ロータリー保育園については、長く所属しておられる会員のかたはよくご存じかと思いますが、まだあまり馴染みの無い方もおられるかと思えます。よい機会ですので今日の会長挨拶はロータリー保育園についてのお話にしたいと思い、数日前に訪問して園長先生からいろいろとお話を伺ってきました。

まず、ロータリー保育園の設立の経緯について、現況報告書に記載されている内容をご紹介します。

昭和 30 年、当クラブがホストとなって第 60 地区年次大会を開催することになっていましたが、その三日前の 10 月 1 日未明に新潟大火が発生しました。会員 60 余名中、罹災会員 20 名以上で大会開催は不可能でしたが、急遽スポンサークラブの東京クラブを中心に都内各クラブのホストにより、10 月 11 日、東京帝国ホテルで地区大会を開催することができました。10 日間の準備期間でしたが、全国より 418 名が参加して無事終了しました。翌昭和 31 年に、地区大会の経費残額約 128 万円と全国より寄せられた見舞金約 125 万円の中から、新潟市の復興のため児童福祉対策の一助として、200 万円を寄付しました。その資金を元に昭和 33 年 5 月、新潟市内 20 番目の保育園が設立され、ロータリー保育園と命名されたのです。当初は定員 65 名、木造平屋建、遊戯室、乳児室各一部屋でしたが、昭和 62 年、老朽化のため鉄筋コンクリートと二階建に改築され、定員 130 名となって現在にいたっています。新潟ロータリークラブのかかわりとしては、毎年クリスマスに社会奉仕委員会のメンバーを中心に訪問し、サンタの装束でプレゼントを贈っています。

さて、ここからは訪問して取材した内容をご紹介します。

現在のスタッフは、園長先生の長井啓子さんをはじめ、保育士 24 名、調理士 3 名、パートを含めると総勢 52 名となり、20 代のかたから 60 代のかたまで幅広い年齢層の方々が子どもたちの面倒をみえています。園児は 0 歳児 4 名、1 歳児 25 名、2 歳児 26 名、3 歳児 27 名、4 歳児 21 名、5 歳児 28 名だそうです。また、お子さんの一時預かりも行っており、一般的な保育園では月あたり 7 日間までしかお預かりできませんが、ロータリー保育園は新潟市から「拠点園」として指定されており、14 日間までの一時預かりに対応することができます。園長先生に子どもたちの様子についてお伺いしたところ、次のようなお話でした。ロータリー保育園にお子さんを連れてくる保護者の方々は、市街中心部で共働きをしているご家庭が多く、その結果、子どもたちが保育園で長時間過ごすことが多いそうです。ところが、それに関わらず、子どもたちの精神状態は比較的安定していて保育園で落ち着いて過ごしており、保護者の方々の気持ちも安定していて、あまりクレームもない、とのことでした。頂いてきたパンフレットで一日のスケジュールや年間行事がわかりますが、12 月の「ロータリアンサンタと交流会」ところと、2 月の「豆まき会」のところにご注目ください。また、9 月と 11 月には「ロータリアンルーム」というところがありますが、乳児を育てている方に施設を 1 日解放する日をこのように呼んでいるそうです。また、近年のスタッフの様子についてお伺いしたところ、最近では昔と異なり保護者の方々がはっきりと要望を話すようになったので、保護者の方々への対応がより丁寧になってきた、とのことでした。最後に、新潟ロータリークラブへのメッセージなどないかお尋ねしましたが、行事への参加がとても助かり、感謝しています、とのことでした。

さて、話は変わりますが、現在我が国は急速に少子高齢化が進んでおり、人類が経験したことのないほどの高齢化社会に突入しようとしています。子育て支援などの政策が進められておりますものの、にわかに子どもの数が急増するわけでもなく、また、一人前になるまでには 20 年かかります。数の点ではどうしても将来の社会について不安を払拭できませんが、それだけに、よく配慮された丁寧な人材育成の質を高めることが、より重要になっているかと思えます。保育園と言いますと、忙しい保護者のかたのためにお子さんをお預かりする所というイメージもございますが、子どもの立場から考えますならば、初めて家族以外の人々と一日の中の長時間を過ごすようになる所

つまり、初めて家の外の「社会」で生きることを学ぶ、重要な場所であり、長い人材育成プロセスのスタートであるとも言えます。我がクラブは、そのような場所にクラブとして定期的に関わっている長い歴史を持つのであります。

考えてみると、我がクラブは子どものそれぞれの段階の成長にあわせて関わりを持っています。乳幼児についてはロータリー保育園、幼稚園から中学校にかけては交通災害遺児との果樹園訪問、高校については青少年交換とインターアクト活動支援、大学から30歳までの社会人についてはロータリーアクト活動支援とロータリー財団奨学金による留学支援などになります。物心ついた頃から、社会の中堅として活躍するまで、途切れることなく、つかず離れず見守り続ける制度があることは、我がクラブの誇るべきところではないでしょうか。これらの活動は、特定の委員会に所属していなければ関わることはできないものではありません。その折々にご案内がありますので、ぜひご関心をもって参加して頂ければと思います。本日の会長挨拶は以上です。

(3) ゲストの紹介

・日本海エル・エヌ・ジー(株)

企画業務部課長 外山輝彦 氏

(4) 米山奨学生 朴 治国さん挨拶・奨学金贈呈

(5) 100%出席バッチの贈呈

鈴木 滋弥君 23年

(6) 誕生日お祝い贈呈(10名)

(7) 結婚記念日お祝いの紹介(5名)

(8) 委員会報告

- ・若槻 良宏会計より半期決算報告
- ・柴田 史郎会計監査より監査報告
- ・岡村親睦委員長より新年会出席御礼
- ・川崎 嘉朗広報委員長より、ロータリーの友電子版閲覧方法について説明があった。

(9) 各種ご寄付の発表

ロータリー財団寄付発表(樋熊 紀雄委員長)

小飯田 澄雄君 鈴木 滋弥君

柴田 史郎君 樋熊 紀雄君

米山奨学会寄付発表(徳永 昭輝委員長)

小飯田 澄雄君 鈴木 滋弥君

徳山 啓聖君 徳永 昭輝君

青少年育成基金寄付発表(小林 敬直副委員長)

鈴木 滋弥君 柴田 史郎君

小飯田 澄雄君

(10) ニコニコボックス紹介(井原健至副委員長)

・柴田 史郎君 喜寿の祝い、とうことでお菓子を頂戴しました。有難うございました。こんなに長生きするとは、思ってもいませんでした。正直、驚いています。失礼ながら、皆様も他人事ではありませんぞ。ヒトは皆、すぐ歳をとりませう。こころしてお過ごしください。

・田村貫次郎君 1月27日 行形亭の新年会で長寿のお祝(お菓子)をいただき、有難うございました。

・得永 哲史君 新年会で古希の祝いを頂きました。ありがとうございました。

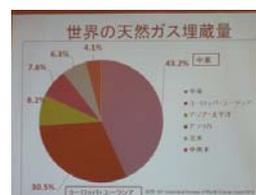
・金親 顯男君 本人はそうは思っていないのですが、何故か、古希のお祝いを頂戴しました。喜んで良いのか……。でもニコニコします。

・長谷川秀彦君 第28回サラリーマン川柳新潟支社ベスト30決まりました。小林悟さんの作品が2作品も選ばれました。詠び人名が「空夢」です。これから全国選考コンクールがスタートします。秀逸な作品でニコニコして下さい。

・小飯田 澄雄君 午前中、ロータリー保育園に節分行事に招待され、佐藤理事、事務局と3人で行ってまいりました。佐藤、小飯田で赤、黒の大鬼の大役をやり、子供達と一緒にはしゃぎ、若返りました。又、その最中に長女に男子(三番目で初)が誕生したとの吉報を受けW喜びです。

(11) 会員スピーチ「LNG情勢について」

日本海エル・エヌ・ジー(株) 取締役社長 八島 進君業計画の発表



(12) 本日の出席率 74.74 %

(2週間前メーク後 85.42 %)

2月3日 理事会報告 出席者11名

- 1 半期決算について=例会にて報告する。
- 2 入会推薦者について=承認
株JTB 関東法人営業新潟支店 執行役員支店長
安藤 智 君
- 3 インターアクト海外研修
明訓高校より6名参加。3/19出発。行き先：
台湾 クラブ負担7万円/人。付き添いでIA担
当の先生も同行を依頼予定
- 4 納会日程
6/30で決定。場所は今後検討
(鍋茶屋ORイタリア軒)
- 5 2月のプログラム=承認
2月 3日 会員スピーチ
日本海エル・エヌ・ジー(株)
取締役社長 八島 進君
2月10日 卓話 JTB 関東
法人営業新潟支店
額爾敦 其木格 (エリントン チムグ) 氏
2月17日 卓話
愛宕商事株式会社 取締役部長 白井吉之氏
2月23日 旧新潟市内7RC 合同例会
18:00 登録 18:30 開会 ANA クラウンプラザ
ホテル新潟
- 6 その他
 - ①75周年記念式典
香港より出席する旨の連絡有り(人数不明)。酒造
協会斎藤会長にスピーチ依頼済み
 - ②入会3年以内者への研修
2000円/人クラブ負担了承。昨年は2名参加。
 - ③次年度委員会メンバーは4月第1週に発表(竹
石さんより)

2月10日の例会予定

卓話「私にとっての宝物」

JTB 関東 法人営業新潟支店 額爾敦 其木格氏

新潟ロータリークラブホームページアドレス

<http://www.niigataarc.jp/>

料理研究会報告

2015年初となる料理研究会が、1月28日(水)に行われました。「土鍋でご飯を炊いてみたいよね」というリクエストにお答えして、「五目炊き込みご飯」をメインに、「鶏肉のねぎ塩だれ焼き」「根菜の醤油汁」の3品の実習をあいなりました。

「料理を習うのは学校の家庭科以来」という、初参加・若槻さんをお迎えして、今回のメンバーは10名。

大根、人参、こんにゃく、油あげ・・・

とたくさんの切り物を進めながら、ごはんのおしかけです。強火→弱火→蒸らしと基本を守り、見事、絶妙なオコゲとともに炊き上がりました！

心技体と充実の料理研究会。次回は都合により2月はお休みして、

3月にいよいよ10回記念です。念願の「料理後の一杯」のお許しがあるやなしや。

メニューとともに次回のご案内をお楽しみに！



今回のテーマは「土鍋」



炊きあがりを確認する小飯田さん



若槻さん初参戦



今回もおいしく仕上がりました。